

学習支援セミナーとして始める 聴覚情報保障への理解・啓発



蒔苗 詩歌 北星学園大学経済学部／アクセシビリティ支援室 Mail: s-makinae@hokusei.ac.jp
松浦 年男 北星学園大学文学部、学習サポートセンター長

背景

聴覚情報保障について

	一般的な課題	北星の現状
ニーズ	年度により変動的	2022-2024年度は申請なし
養成	継続的な実施困難	ニーズなしでは養成者のスキル維持が困難

様々な側面からの準備が必要
すぐに提供できるとは限らない

- ① 一定の研修期間（時間）
- ② 機材の整備や講習開催（モノ・カネ）
- ③ 人材確保と継続の動機付け（ヒト）

“障害学生のための情報保障”を継続的に整備するには、様々な面での難しさが生じる
音声認識やテキスト化等に役立つツールは、学習を効率的に進める上で、“学生みんなに”有用
◎学習支援セミナーとして情報保障ツールの紹介や体験を通じて聴覚情報保障への理解・啓発

目的

- ・学生の学習スキル向上を目指したセミナーの継続開催
- ・全学生を対象に、学習支援セミナーとして情報保障に活用可能なツールを紹介し体験する機会を設ける
- ・聴覚情報保障への理解者をふやす ⇒潜在的な支援者の養成

方法

- ・学習サポートセンター ラーニング・コモンズで開催
- ・昼休み20分×2回、短時間で気軽なセミナーとして実施
- ・専門的な内容ではなく、学生のケータイに入っている標準アプリで音声認識・文字認識を体験してみる



ATって何？

- ・Assistive Technologyの略
- ・障害のある人もICT機器・技術を使うように工夫された支援機器や技術のこと
- ・現在は、障害のある方へのサポートに活用されることもありますが、誰にでも便利なものがたくさんあります

本日の企画では・・・

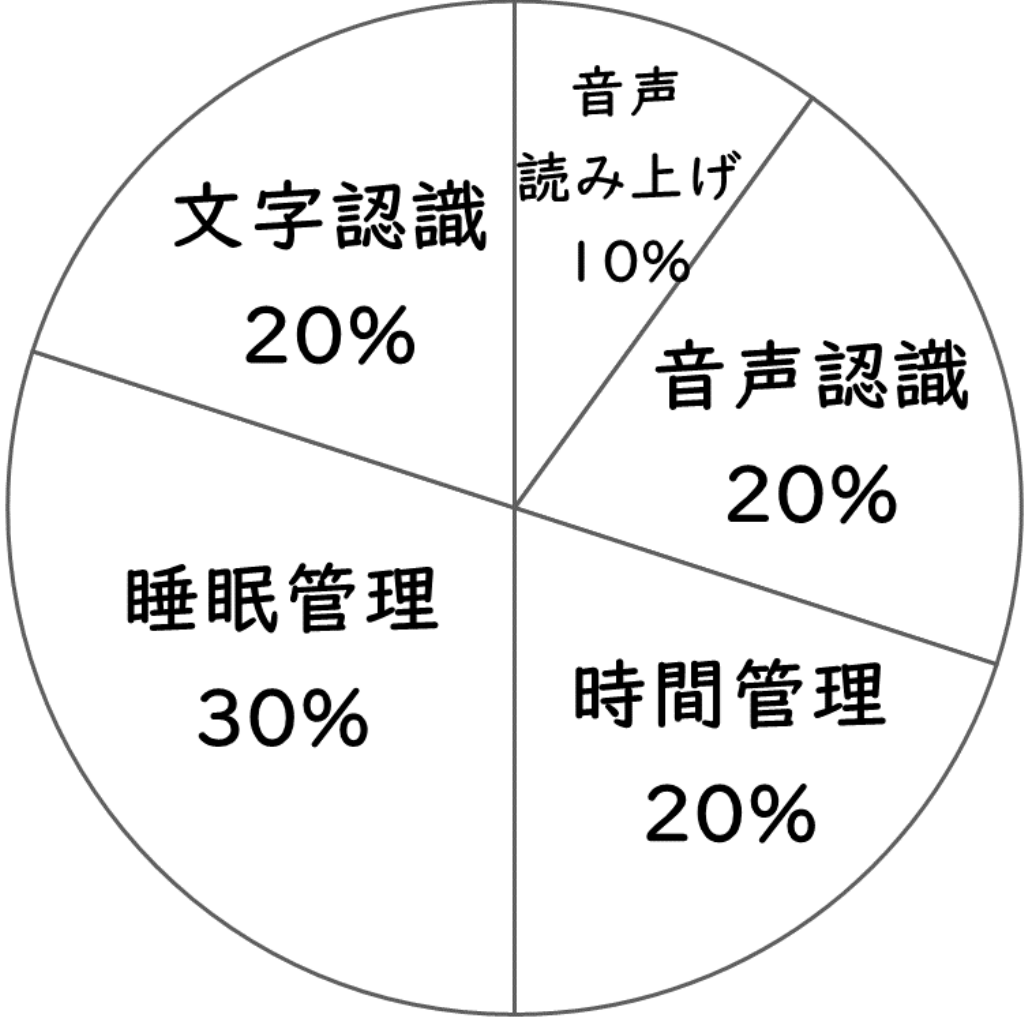
- ・みなさんが持っているケータイ・パソコンにあるATをご紹介します！
- ①音声→文字に換える
- ②印刷文字→データの文字に換える
- ・便利な機能を使いこなして、レポートや卒論執筆を効率的にかんばっていきましょう！

音声認識・声で文字に換える

- ・試行的な開催だったが、参加者には好評&職員参加も数名いた
- ・参加者10名の結果ではあるが、事前知識や求める内容には幅があった
- ・支援ツールへのイメージ ⇒ 今後は、人数追加・参加回数ごとの分析が必要

質問内容	文字認識	音声認識
初めて知った、使ったこともなかった	7	5
以前から知っていたが、使ったことはなかった	0	4
以前から知っていたが、使ったことがあるのは1.2回のみ	1	0
以前から知っていたが、使ったことがあるのは数回で頻度は多くない	1	1
以前から知っていて、日常的に使っている	1	0

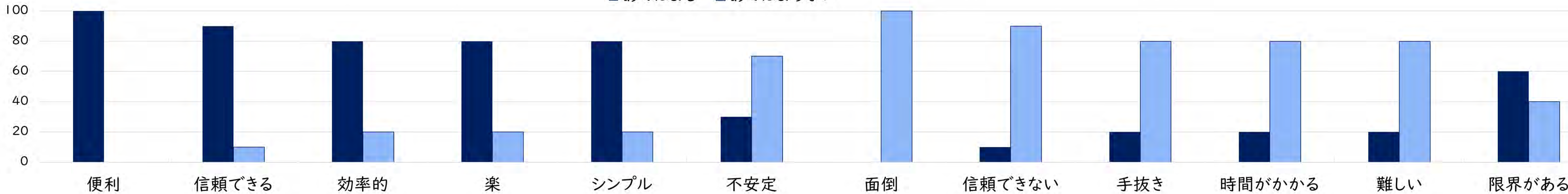
セミナーで扱ってほしい支援ツール



アンケート結果

「あなたが思う支援ツールのイメージ」について伺います。下記の言葉があてはまるかどうか教えてください。

■あてはまる ■あてはまらない



今後に向けて

- ・第2回目も実施予定、対象者を学生および教職員に拡大して理解・啓発的に実施していく
- ・専門的なことを学ぶというよりは、学生や教職員が活用している標準的な端末（ケータイ・PC）で体験可能な内容を扱い、ベースラインを上げるような取り組みとして位置付けていきたい
- ・開催を重ねていった先に、応用編として専門的な内容を少しずつ扱っていければと検討中
- ・教員によるアウトリーチを学習支援の機能をもたせながら連動的に